

た。

(26) 獨立守備隊の二中隊は一月十一日鳳凰城西南地區の兵匪約三百を掃蕩した。

(27) 獨立守備隊の一部は一月十一日中固東方地區の兵匪を掃蕩した。

(28) 齊々哈爾守備隊の一部は一月十二日同地西方約十紆附近に於て兵匪約三十を斃した。

(29) 一月十二日獨立守備隊の二中隊は新城子(奉天鐵嶺の中間)北方地區に於て約三百の兵匪と交戦し之を撃破した。

八、關東軍に勅語下賜

大元帥陛下には畏くも極寒の滿洲の山野に日夜奮戦努力してゐる我が在滿部隊に對し先に侍從武官を御差遣、御慰問あそばされたが、更に一月八日、このほど暴虐なる兵匪を關内に撤退せしめたる在滿將兵の勞苦をいたはらせられる思召を以て、優渥なる勅語を賜はつた。

1697

勅語

曩ニ滿洲ニ於テ事變ノ勃發スルヤ自衛ノ必要上關東軍ノ將兵ハ果斷神速ヲ發シ衆ヲ制シ速ニ之ヲ芟討セリ爾來艱苦ヲ凌キ祁寒ニ堪ヘ各地ニ蜂起セル匪賊ヲ掃蕩シ克ク警備ノ任ヲ完ツシ或ハ嫩江齊々哈爾地方ニ或ハ遼西錦州地方ニ氷雪ヲ衝キ勇戦力闘以テ其禍根ヲ拔キテ皇軍ノ威武ヲ中外ニ宣揚セリ朕深ク其忠烈ヲ嘉ス汝將兵益々堅忍自重以テ東洋平和ノ基礎ヲ確立シ朕カ信倚ニ對ヘンコトヲ期セヨ

昭和七年一月八日

九、結 論

之を要するに昨年十二月以來支那側兵匪の活動は愈々猖獗を極め、皇軍は連日連夜治安維持の爲悪戦苦闘を續けてゐる。幸にして遼西地方から此等兵匪の策源たる錦州政權を驅逐し得るも、學良系の操縱する兵匪の跳梁は未だ其の跡を絶たず、殊に錦州政權撤退に際し、正規兵中の不良分子を關内に入らしめず、之を關外に止め、從來の兵匪と共に皇

遼西地方兵匪討伐より支那軍閥内撤退まで